

MASASHI HAMAUZU FAN MAGAZINE

AEOLIC GUARDIAN

ROMAN

VOL. 1



浜渦正志さんファンマガジン「ROMAN」創刊にあたり

2013年4月20日、
浜渦正志さんファンサイト「AEOLIC GUARDIAN」は
4歳の誕生日を迎えました。
4年前といえば丁度「シグマ ハーモニクス」と「ファイナルファンタジー XIII」の間の時期です。
浜渦さんに関する情報はごく限られたソースからしか得ることが出来ず、
またファン同士の交流というのもあまり活発でなかったように記憶しています。

あれから4年。
私達、浜渦さんファンを取り巻く環境は大きく変化しつつあります。
浜渦さんご本人が twitter や Facebook 等で情報を発信されるようになったこと、
そして、上記のような SNS により、同じ浜渦さんファン同士の
交流が持ちやすくなったこと。
あの曲のこういうところが好き、という、
何年も胸に留めていた思いを
ようやく共有することが出来るようになりました。

AEOLIC GUARDIAN へのアクセスの大半はディスコグラフィが占めています。
それは、浜渦さんファンの方々が、
如何に浜渦さんが関わられた音楽を愛しているか、ということの現れと考えています。
サイト設立から4年が経過し、環境が変化しつつある今、
そういったファンの方々の愛情や熱意を
ファンマガジンとして形にするべく、ここに ROMAN を創刊致します。

2013年5月1日

浜渦正志さんファンサイト AEOLIC GUARDIAN

MASASHI HAMAUZU FAN MAGAZINE

ROMAN VOL.1

INDEX

- 04 インタビュー
クサカアキラさん(ケミーキラー)
- 06 ファン座談会
- 08 メッセージ集

interview

クサカアキラさん(ケミーキラ)



PROFILE

ニコニコ動画を中心に活動中の歌い手・踊り手・生放送主。
2010年に放送されたいわゆる“化粧配信”は一般のニュースサイトでも取り上げられるなどし、一躍時の人となった。
『ニコニコ大会議2010-2011』(2011年、TOKYO DOME CITY HALL)などのライブ出演のほか、
松田聖子トリビュート『MemorieS ~Bitter Sweet Pineapple~』(2011年、ソニー・ミュージック)に参加するなど
あらゆる方面でマルチな活躍を続ける一方、登録メンバーが9万人を超えるニコ生コミュニティ「生ケミーキラ」においては
しばしば“浜渦愛”に溢れた生放送を行っており、浜渦氏の大ファンとしても知られる。

WEB <http://flavors.me/akirakusaka>
BLOG <http://ameblo.jp/hamarkiller/>
niconico <http://com.nicovideo.jp/community/co38314>
twitter @Akira_Kusaka

—浜渦さんを知ったきっかけを教えてください。
中学生のときに観たFFXのプレオープンサイトにて「マカラーニャの森」がBGMとして流れていたのが、浜渦氏の音楽との出会いです。小さい頃からゲーム音楽が大好きだったのでメロディー主体のものが多く、あんな美しいアンビエントなゲーム音楽に出会ったのは初めてでショックを受け、ボーッと長い間眺めてましたね。
しかしその時はまだ作曲者名が分からず…時は高校1年生まで流れます。
MIDIやmp3でゲーム音楽のコピーやアレンジを公開しているサイトをめぐるのが好きで、とあるサイトにてアンサガの「バトルテーマEX」に出会いました。
「こ、この切ない高揚感は何だ！初めてだこんな感情！」と、今度こそガッツリ心を鷲掴みにされ、そこでやっと氏の名前も知ることができました。(「マカラーニャの森」の作曲者と同一人物だと分かったのは数年後でした)
それからは他の曲も聴き漁り一気にのめりこみました！
初期は、先の曲と同じくアンサガの「バトルテーマ」&サガフロ2「Feldschlacht IV」の3曲を毎日ずっと聴いていました。今まで知らなかった、奥深いの痺いところにやっと手が届いたような…氏の音楽との出会いはそんなイメージです。

—浜渦さんの魅力とは、どのようなところだと思われますか？
まず変調が多いところ。私にかく変調に弱いです(笑)。
そして複雑で繊細な音のつくり。すごい絡み合ってひとつの波のように感じるのが、もう気持ちよすぎます。
あとは、心の奥から突き動かされるような感情的な曲なのに、その情感はいざ言葉にするのが難しかったり説明しにくかったり…不思議な魅力です。
音楽ジャンルの傾向も好きです！
クラシカルなものはもちろん、民族的音楽や、ジャズ、ミニマル、フュージョン、テクノなど…特にアンサガのサントラはそんな幅広い曲調が贅沢に詰め込まれて大好きです。
最後は、編曲！
原曲を違うアングルから眺められるアレンジというものが個人的に好きなんです。氏は編曲におかれましても類稀なる才能を発揮されていると勝手に思います。
例えば、FFX「ビサイド鳥」のピアノコレクションverである「Besaid」は素晴らしいセルフアレンジですね。また同作品の「祈りの歌」は12曲ほどバリエーションがありますが(作曲は植松氏で、編曲は全て浜渦氏)、ユウナレスカverの禍々しい妖しさ、そして対比的であるスピラverのカタルシスは衝撃的でした！
今でも2曲セットで聴く度にもれなく鳥肌が立ちます。

—先日の“浜渦ベスト5”で、「Aufsteigende Flügel」「ヴェントのテーマ」「バトルテーマEX」「Volspiel」「Todfeind」の5曲を挙げておられましたが、それぞれの曲について語って頂けますでしょうか。
「Aufsteigende Flügel」
アンサガ主題歌「天翔ける翼」のアレンジなんですけど、原曲と同じくらい好きです。ピアノのタッチの優しさにいつも心ほぐれ、泣きそうになります。子守唄のような、4starというイベントにてこの曲を黒田氏の演奏するピアノの真前で生で聴けたのですが、もう涙垂れ流してました。

「ヴェントのテーマ」
アコギ一本、主旋律らしいものではなく、伴奏だけ抜き取ったような曲なんですけど、すごいシンプルなのに、全く飽きないんです！！流石でございます！！
非常にゆったりとした音の隙間の静寂がこれまた心地よいんです…。“浜渦ベスト5”にて他のキャラテーマ曲で好きな「キャッシュのテーマ」「ローラのテーマ」と悩んだのですが、いつどんな時でも聴きたくなるのがこの「ヴェントのテーマ」だったので、そこで決めました。

「バトルテーマEX」
こちらは先ほど述べた通り私の始まりの曲なので、ランキングには欠かせませんでした！
もう、何ですかね、この勢いと独特の疾走感…3拍子(合ってます?)ってところが最高です。主旋律のヴァイオリンが切ないんですけど最後に高らかに鳴くところが、もう！！
その上がある場所もまた絶妙で、もうブアッと解放される感じが、はあ、エクスタシー…すみませんちょっと取り乱しました。この文章で理解できた方はすごいです(笑)。

「Volspiel」
こちらはサガフロ2のタイトル画面で流れる短い曲なんですけど、最初聴いたときにしばらく口開いて動けなかったです。ゲームの電源をつける度に必ず最後まで聴いてました。タイトル画面が草原なんですけど、本当マッチしてて鮮明に甘い情景が浮かびます。まずシンとした陽光から始まり、駆け足で草原を走り、ついに一息ついて草原に寝転びまどろむ…そんな情景です。爽やかで、暖かく

て、どこか切なくて、そして懐かしい。私の中で特別な曲のひとつです。

「Todfeind」
こちらはここ数年でじわじわ好きになったスルメ曲です。細かくて速いリズムのグルーヴ感にまずテンションが少しずつ上がっていきま。そしてこの曲の最大の魅力は1分半ほど焦らされた後のあのサビですよ！！
そこでベースが入ってくるのも「うおおお」って感じなのですが、後ろのシンセが切なく主旋律に絡む一瞬があるんですよ、そこが大好きで！
私の語彙の乏しさじゃ表現できないのがお恥ずかしく申し訳ないです。

—2010年8月の「Piano Collections FFXIII 浜渦正志&黒田亜樹 トーク&ピアノコンサート」(千里ヤマハホール)でクサカアキラさんを見掛けたという声があちこちから上がっていましたが、あれは本物のクサカアキラさんだったのでしょうか？
本物だなんてそんな大層な人間じゃないんですけど(笑)はい、そうです！

化粧動画が話題になった直後だったので、気付いていただけたんでしょうか？素人同然の私の事を知ってくださるだけでも嬉しいのに、全く畑の違う浜渦氏のイベントでそんな方たちと一緒にできたのは何だか不思議な感じでとても嬉しいです。
ちなみに浜渦氏のイベントにはあれが初めての参加でした。ステージに現れた浜渦氏を観た瞬間「神だ…神が目前にいる…」オーバーなのは承知ですが本当にそう浮かびました(笑)。
そういえば質問コーナーがあったのですが、勇気を出して手を挙げたんです。ところが普段から「様」付けて呼んでいるためにそのまま「あの、浜渦様は…」と発してしまったところ数名の方がこちらを振り向かれ、ちょっと恥ずかしかったです(笑)。
そして浜渦氏の曲のピアノ演奏ではお馴染みの黒田亜樹氏にもお会いできて感動でした。このお二人のタッグはほんとに素晴らしいですよ！！
その時のイベントでは黒田氏のあまりに情熱的な演奏のため指を切って流血されるという場面があったのですが、本当にすごく張り詰めた状態で演奏されているのだな、と敬服いたしました。

ファン座談会

浜渦さんファンの方々の声を集めて作るファンマガジン。ということで、ファンサイトアカウントをフォローして下さっている方々に集まっていただき、座談会を開催してみました。

たむ：折角ですので、みなさんで同じCD聞きながらとかどうですか？

おおかみ：いいですね！

——是非！

ロマネ：何のCDでしょうか。

——Black Oceanとかどうでしょう。順調にいけば、IMERUATライブの時にはこの本発行されている筈なので…(笑)。

白鈴アキ：いいですね。

おおかみ：ライブ前の予習も兼ねて。

白鈴アキ：PVの映像も脳内自動再生されます…。

——ではBlack Oceanが流れ始めたところで、皆さんのファンになったきっかけを教えてください。

たむ：初めて知ったのはサガフロ2で、アンサガのバトルテーマ1で夢中になりました。

——サガフロ2がきっかけという方は多そうですね。

おおかみ：私もサガフロ2からですね。

ロマネ：同じく！

白鈴アキ：やっぱり皆さんサガフロ2からなんですね。

——アキさんは何がきっかけでした？

白鈴アキ：私は厳密にはゲームからじゃないんです。

たむ：ウーロン茶！

ロマネ：ウーロン茶もゲームです(笑)。

——何気にまだウーロン茶のサイト残ってるんですね。

白鈴アキ：残念ながらウーロン茶じゃなかったです(笑)。大学の頃にレポート書くときに聴いていたニコニコ動画のバトルメドレーの中にサガフロ2の曲があって、それで初めて浜渦正志という人を知った感じです。

たむ：バトルメドレーには大体浜渦さんの曲ありますよね。

白鈴アキ：なので、音楽聴いて興味を持ってサガフロ2をプレイするという逆のパターンでした。

たむ：浜渦さんが関わってるゲームにはよくあることですね(笑)。

ロマネ：アンサガなんかはゲームやってないけど曲だけ知ってるって人も多そうですね。

白鈴アキ：アンサガは私もバトルテーマが好きですが、ゲーム自体はやってないです。

おおかみ：ゲームやりましたよ！途中までですけど。

たむ：私は「天翔ける翼」聴くまでやりました。今までのサガシリーズやってる人からすると分かりづらいかもですね。アンサガはお安いので途中で諦める前提で買うのはありだと思いますよ。

おおかみ：宝箱の開け方が分からなかった思い出…。

たむ：浜渦さん作品だとチョコボが曲数が多いので知り始めた人も多いですね。

おおかみ：私は初めて浜渦さんの曲聞いたのはチョコボが先でした。それが浜渦さんだと知ったのは結構後でしたが(笑)。

白鈴アキ：なかなか興味を持たないとゲームの作曲家まで調べたりしないですね。

ロマネ：私の場合、サガフロ2の音楽が大好きだったんですけど、その頃はまだ作曲家とか意識してなくて、FFXで好きな曲を調べたら大体浜渦さんの曲で、プロフィール見たらサガフロ2の人だってなったのがきっかけです。

——僕はおおかみさんと同じで、その後サガフロ2を華麗にスルーして、FFXで浜渦さんってお名前を認識しました。で、アンサガの「バトルテーマI」で完全に墮ちました。

白鈴アキ：「バトルテーマI」で墮ちる人が多い(笑)。

たむ：「バトルテーマI」の衝撃はやっぱりすごかったですね。ゲームなのにヴァイオリン曲なの！みたいな感じでした。

——あれで浜渦さん＝ヴァイオリンが素敵なヒト、っていう認識になった方も多いような気がします。

ロマネ：戦闘曲でヴァイオリン主体の曲って珍しかったですよね。

白鈴アキ：初めて聴いたときは葉加瀬太郎みたいーって思いました。ヴァイオリンが浜渦さんの魅力の一つかなと。

たむ：最近「貧乏神が！」とかでもヴァイオリン曲多くて気に入ってます。

——市子のテーマ！

ロマネ：でもサガフロ2の頃とかは使える音色の問題もあるんですけど、ヴァイオリン曲ってあまり

ないんですね。

おおかみ：サガフロ2がPS内蔵音源じゃなかったら、どうなったたんでしょうね。

たむ：SF2 piano piecesの狂詩曲みたいになってたのかな。

——音色とか容量制限取っ払ったサガフロ2は聴いてみたいですね。ピアノ弾ける人がいなさそうですが…(笑)。

おおかみ：ベンヤミンさんお呼びせねばですね！

たむ：贅沢！(笑)

おおかみ：ピアノもヴァイオリンも浜渦さんの魅力の一つですけど、印象的なフレーズとそのアレンジのバリエーションの広さが一番の魅力かもしれないですね。「Feldschlacht」のバリエーションは本当甲乙つけがたいです。

白鈴アキ：あれ？これ同じフレーズじゃない？って気付くのも楽しみの一つですね。

ロマネ：私サガフロ2好きになったのは小学校高学年くらいだったと思うんですけど、その頃はなんとなく聞いているだけだったので、あんなに同じモチーフが使われているなんて当時は気付きませんでした。数年後改めて聴きなおして、“えっ、あれ、これ全部同じフレーズ……えっ”てなって惚れ直した次第です。

白鈴アキ：同じモチーフが使われているのに気づかない。あるある(笑)。

——FFXの「決戦」に「素敵だね」のモチーフが入っているのに、10年掛かってやっと気づきました。

たむ：え、知らなかった(笑)。

——1:46あたりですね。

白鈴アキ：あ、ホントだ！

ロマネ：やっぱり入ってますよね？どこいっても触れられてないから自分の気のせいかと思ってました。祈りの歌のフレーズが入っ

てるのは割りと知られてるんですけど、やっぱりあの一瞬じゃ気付きにくいですね。

おおかみ：なんか他にもありそうですね。

ロマネ：浜渦さんが担当されているゲームって、ラスボス戦の曲が流れるとそれまでの思い出がぶわっと蘇ってきてうわあああってなります。

——では、ここで皆さんのお好きな一曲を挙げて頂いてもよろしいでしょうか。僕はFFXピアノコレの「ピサイド島」…と言いたいですけど、最近「市子・ツキまくり人生」が一押しです。

たむ：アンサガの「バトルテーマEX」かな！やっぱり！

白鈴アキ：私は「Aeolic Guardian」ですかね。この曲はよく聴きます。癒される。

ロマネ：サガフロ2の「Präludium」ですかね。やっぱり一番最初に合合ってガツンとやられた曲なので。

おおかみ：私は「Feldschlacht III」ですかね…これが通常戦闘曲っているのがもうたまらなく贅沢です。

——『サガフロ2』2票、『アンサガ』1票、『武蔵伝II』1票、『貧乏神が！』1票。やっぱり割れますね。

おおかみ：それだけ魅力的な曲が多いってことですね。

——一曲に絞るのは大変ですけど、5曲なら何とか絞れなくもないので、“浜渦ベスト5”は年に1回くらいの恒例行事になるといいなとか無責任に思っています。集計されるゆけさんが大変ですが(笑)。

白鈴アキ：浜渦ベスト5は盛り上がりましたよね。

おおかみ：公式さんにも拾っていただいております(笑)。

白鈴アキ：色んな人のベスト5があって面白かったです。FFXIIIで浜渦さんを知った方も多かった印象が…。

たむ：閃光は超いい曲ですからね…ファンタジーロックフェス2012は閃光目当てで聴きに行きました。あの桑野さんの姿は今でも忘れることができない…格好良かったです。

白鈴アキ：閃光はトレーラーを初めて見たときに興奮しましたね。そして、バトル曲で使用されてなんて贅沢なんだ！と。

ロマネ：また“浜渦ベスト5”やるなら1つのアルバム内で5曲ってやって欲しいです。全部から5曲は厳しい(笑)。

おおかみ：同意(笑)。

——ではそろそろ締めたいと思います。最後に浜渦さんへ一言ずつメッセージや要望を頂けませんか。

おおかみ：サガフロ2とかアンサガとかシグマの曲もライブで演奏してください！

ロマネ：今までもこれからも大好きです！ライトニングリターンズやIMERUATの新曲も楽しみですが、個人的にはVielen Dankの楽譜欲しいです……(笑)。「Aguas Erinnerung」演奏してみたいです。

たむ：まだまだ浜渦さんの新しい曲が聞けるというだけで人生がわくわくします。一生ついていきます！

白鈴アキ：浜渦さんの素敵な音楽をこれからも応援していきます！そして浜渦ファンの皆さんと楽しく浜渦さんの話が出来て楽しかったです。本日はありがとうございました。

——こちらこそ、本日はありがとうございました。

白鈴アキ：あと、関西LIVEもよろしく願います(笑)。

たむ：次回関西ライブあったら行く気まんまんですよ(真顔)。

収録：浜渦マガジン編集部会議室

参加者▶▶▶

ロマネさん @romane_sft
白鈴アキさん @aki8901

おおかみさん @ohkami_hw
たむさん @musi

司会進行▶
なる @naro2010

Message

■Variation(サガ フロンティア2)

当時高校1年くらいにサガフロ2に出会いました。それまでゲーム音楽は電子音だという認識しかありませんでした。そんな中、サガフロ2のスタート画面から聞こえてきたピアノの旋律に衝撃を受けたのを覚えています。

まさかゲームでピアノの音が聞けるなんて！

浜渦さんの曲の効果もあり、サガフロ2は私の大好きなゲームになりました。その中でもこのVariationの曲が一番ピアノを感じられて大好きです！ピアノピースの方も、もちろん大好きです！私の浜渦さん好きは間違いなくサガフロ2から始まっているので、この曲を挙げさせていただきました。私のiPodは常に浜渦サウンドで溢れています。これからも素敵な曲を楽しみにしております！(touyouturuさん／女性／東京都)

■Variation(サガ フロンティア2)

浜渦様の曲はどれも美しいのですがその中でもVariationはどんな時でも聴き入ってしまいます。気持ちのよい朝、仕事で疲れた時、悲しい事があった時、穏やかな気持ちの時、心を落ち着けたい時、作業に集中したい時、散歩をする時、など様々なシーンで一心同体となってくれます。聴いているとゲームのシーンが蘇ることもありますが、曲名もドイツ語で「変動」という意味があるようにこんなにもリアルな生活と感情の「変動」にマッチする音楽は他にありません。

(kanarisanさん／女性／東京都)

■ガブラ樹林(ファイナルファンタジーXIII)

Minaさんの声や、ストリングス、シンセサイザーが創り出す音の空間が、透き通った水のように綺麗で、清涼感漂う一曲です。この清々しい初夏の時期に、窓を全開にして、外の環境音と共に聴けば、自然と一体化したような不思議な気分になれます。

昨年の東京ライブでの生演奏で感じた、会場全体の神秘的な雰囲気と、自分が今どこにいるのか分からなくなる感覚は今でも忘れられません。

(Y_Yuukiさん／男性／神奈川県)

■Todesengel(サガ フロンティア2)

浜渦さんとの出会いはサガフロンティア2でした。浜渦さんの音楽で織られる一大叙事詩…とても素敵な体験ができました。ただ、ラスボスは強すぎました。何連敗したことか…。もし浜渦さんのこの曲が無かったら、スタークエイクにもゼノサイドにも勝てず、サンダイルは滅んでしまっていたことでしょう。浜渦さんありがとう！(ぶらんちみいとさん／男性)

浜渦さん及びIMERUAT楽曲を愛し続けます。

(長井透流さん／女性)

■Battaki(Black Ocean)

この曲がすごく好きで、いつか自分でもこんな歌や演奏にチャレンジしたいと思いました。

(sawadyさん／男性／愛知県)

ファンマガジン創刊おめでとうございます。

私が初めて浜渦さんの名を知ったのは、小学生の頃手にしたチョコボのサントラでした。本当に、いつも聴いていました。あれから15年くらいたちましたが、今でも浜渦さんの曲のためにゲームに手を出す日々、幸せです。いつも目を潤ませて聴いちゃいます。浜渦さんに出会えて本当に良かった！大好きです！！(鷺遠ゆずさん／女性／東京都)

■ビスайд島(ファイナルファンタジーX)

ROMAN創刊おめでとうございます。数ある名曲の中から一曲選ぶとしたらFFXのビスайд島です。原曲ももちろん好きですが、初めてピアコレ版を聴いた時の感動は今でも忘れません。ビスайдに限らず、浜渦さんの作られる美しい音楽の一曲一曲が私の大切な宝物です。

NO HAMAUZU,NO LIFE

(あやーのさん／女性／神奈川県)

■Choose to Fight(ファイナルファンタジーXIII)

浜渦さんの楽曲は大好きな物ばかりで1曲選ぶのは難しいですが、座右の銘(曲?)のようにいつも聴いている「Choose to Fight」を選ばせていただきましたw 始まりから終わりまでかっこいい…！サイバーなイントロがスズシ心に響きます！歌詞もかっこよくて、曲にとけ込むようなMinaさんの歌声にも励まされます！この曲に何度勇気をもたらしたことか…！「Choose to Fight」に出会えて本当によかった！いや、浜渦さんの楽曲全部ですわ！(yukaridaさん／女性／群馬県)

この度は「AEOLIC GUARDIAN」4周年、及び「ROMAN」創刊、本当におめでとうございます。

何を書こうかとても迷いました。曲名挙げようとしても、とても絞れず…。なので、一番最初である創刊号に寄せる…という事で、自分が一番最初に浜渦さんにはまったときの事を書きます。別に作曲ができた訳でもなく、ただ単純に「ゲームが大好き！音楽が大好き！だから将来ゲームの音楽に携わりたいな〜」なんてふわふわ考えていた11歳の自分は、サガフロンティア2で初めて浜渦さんの音楽を聴いて、とても感動しました。

テーマとなる3つの旋律を変奏した音楽がゲームを多様に彩り、統一感を出している…という事が、当時の自分には衝撃的すぎました。同じメロディなのに、こんなに趣が違って、幅が広くて、色彩豊かで、きらきらして…。「こんな素敵な音楽を創り出す作曲家さんがいらっしゃるなら、自分はその素晴らしい作品を楽しむ側でありたい」とすぐに考えを変えて、何度も何度もサントラを聴いては悦に浸っていました。

そうやって浜渦さんの音楽が大好きになって14年。IMERUATに再び衝撃を受けたり、同じ浜渦さんの音楽を好きな方と交流させて頂いたり、聞き逃していた楽曲を教えてもらい、更に浜渦さんの作品にのめり込んだり…充実している今日この頃、とても幸せです。今後益々の浜渦さんのご活躍を、更に眩くて多彩な音楽、作品、世界に触れられる事を、心から祈っております。(いずみさん／女性／東京都)

■Volspiel(サガ フロンティア2)

創刊おめでとうございます！Volspielはかれこれ何年も起床の音楽として愛用させて頂いています。朝からスッキリと目覚められる、そして一日の始まりというのが最高です。浜渦さんのファンとの距離感の持ち方が他の方にはない、素晴らしくより魅力を感じて益々ファンになっています。これからも浜渦さんの楽曲や、浜渦さんファンとの交流など楽しんでいきたいと思えます。(Satoooさん／男性／東京都)

浜渦さんの曲の何が素晴らしいかと言ったら、それはもちろん文字で伝えられる限りではなく、いやもうとにかく素晴らしいから素晴らしいわけで、とにかく聴けばわかるし、聴いて感じるものが全てなわけです。以上。

…とそれではコメントが即終了となってしまおうので、私のひどい語彙力及び文章力の無さを、ただひたすらの「浜渦愛」のみでカバーしきれないけどカバーした気になって以下綴ります。浜渦さんの曲で私が特に素晴らしいと思うのが「美しい和声」です。浜渦さんらしい、ちょっとひねりがあって複雑に響く和声、その独特の和声感にいつもうっとりしてしまうのです。実際、「Feldschlacht」などは二度目のAメロはメロディなしの和声のみで進行しますが、もうその和声だけで飯が3杯食える、もとい何百万回でも聴けます。本当に素晴らしい、大好き過ぎる。「M74_2 PRO「宿命への抗い」コーラス無しVersion」などもそうで、メインのコーラス部がなくともこの気持ちよさ。シンプルなピアノの小曲においても、壮大なオーケストラにおいても、この和声感が際立っていて素晴らしいと思うのです。音の重なり、響きの美しさ。ああ、もう、浜渦さんの曲がとにかく大好きです。(ゆげさん／女性／埼玉県)

この度は「ROMAN」創刊おめでとうございます。ほんの数年前に、ゲーム音楽のサウンドトラック及びピアノアレンジから浜渦さんを知った駆け出しのファンです。ゲームに先立って音楽ばかり聞いてしまっていますが、それも浜渦さんの楽曲があまりにも良い為そうってしまったのだと思います…。今後は、ゲームを遊んだりイベントに参加するなどして、曲の数ほどの思い出を作れたらと思っています。(おるさん／女性)

■A New Hope(武蔵伝II ブレイドマスター)

始まりを予感させる、透明感と高揚感のある曲。

浜渦さんの打ち込み曲の真骨頂が表れていて大好きな曲です。「Imeruat」を聴いた時、まずこの曲が思い浮かびました。(ばるちゃんさん／男性／東京都)

FF10のサントラで

好きな曲が浜渦さん作曲のものばかりだったことから、浜渦さんの活動を追いかけ始めました。CDの中では特にVielen Dankが好きでしょっちゅう聴いています。最近はIMERUATでの活動やアニメの劇伴、写真家さんとのコラボなど色々な面で活躍されていて、ますますたくさんたくさん浜渦さんの音楽を聴けることを楽しみにしています！(remacoさん／女性)

■バトルテーマEX(アンリミテッド:サガ)

ファンマガジン「ROMAN」創刊おめでとうございます。とりあえず、思い入れのある曲はバトルテーマEX(アンリミテッドサガ)です。浜渦さんにハマったのはサガフロンティア2からで、その後FF10も有りましたが、そこからハマリレベルにアップしたきっかけがこの曲です。いまだとニコ動に"100分耐久"なんてありますが、当時、PS2をMDにつないで、この曲が流れるバトルの部分でMD1枚がつつり録音して聴いたのを思い出します(´▽`) (くろふえんりるさん／男性／千葉県)

■ヴェントのテーマ(アンリミテッド:サガ)

アコギのゆったりとしたメロディが大好きです。和音が単発のCの音を絶妙な音色に変えていて、なんとも切ない気持ちにさせてくれます。アンサガは未プレイなので、ヴェントさんがどんな人が想像しながら聴きます(笑) 浜渦さんの曲はどれも透明で物語があるように感じます。これからも長く聴いていきたいです。(びーたんさん／女性／東京都)

■Feuersinfonie II (Vielen Dank)

このたびは「ROMAN」創刊おめでとうございます。
浜渦さんの楽曲は「チョコボ」に始まり、
本当に長い間、聞かせて頂いています。
まさかファン同士でこのような交流ができるとは
夢にも思いませんでした！

現在、浜渦さんのお仕事はHP「AEOLIC GUARDIAN」の
ディスコグラフィにある通り多岐にわたり、
ファンの方々それぞれ、思い入れのある曲があることと思います。
そんな浜渦楽曲のなかでも、「浜渦さんの曲」といわれて
私にとって絶対にはずすことのできない1曲が、
「Vielen Dank」所収の「Feuersinfonie II」です
（「武蔵伝II プレイドマスター」のなかで、
火の巫女ミュレ関連のイベントで流れる
「Symphony of Fire II」のピアノアレンジにあたるものと思います）。
この曲のメロディーの躍動感、進行の心地よさもさることながら、
その全体をながれる、穏やかながらも力強い、芯の強さのようなものに、

**新人の頃、入社まもなく送り出された
地方出張のなか癒され勇気づけられたのが、
今思えばいよいよ浜渦熱が高まっていく
きっかけだったように思われます。**

この「ROMAN」を通して、ファン同士の交流が
もっと深められれば幸いですね。
浜渦さん、「ROMAN」創刊にご尽力された方々、
これからも微力ながら応援させていただきます。
（Momioさん／男性／千葉県）

■Roman (サガ フロンティア2)

浜渦さんの作曲で、サガフロンティア2の体験版にて
初めて聞いた曲がこれでした
（厳密には時代選択画面のAußenweltですが…）。
当時は小学生だったため、
水彩画風の綺麗なグラフィックや
派手な戦闘のエフェクトばかりが目が行き、
楽曲にあまり意識はしてませんでした。
ですが、後に製品版を購入し進めていくと
その音楽にも次第に惹かれていき、

**結果自分で初めてのCD購入が
このサガフロンティア2のサントラとなり、
以降様々なゲームサントラに
手を出してみるようになりました。**
様々な楽曲に出会うきっかけを作ってくれた浜渦さんに
感謝するとともに、これからの作曲活動も
応援していきたいと思います。
（ピクターさん／男性／大阪府）

■閃光 (ファイナルファンタジーXIII)

この曲を初めて聴いた時、
私の中に文字通り閃光が走りました！
その時は実はFF13は未プレイで、
曲を聴いて気になってプレイし始めた…
そんな経緯があります。
曲のおかげで13もとっても好きになりました。
FFが好きですと植松さんの音楽に馴染み深かったけれど、
この曲との出会いはそれを
塗り替えてしまうくらい強烈でした。
今では文句なしに私のナンバーワン曲です。

でもブレイズエッジも同じくらい大好きなんだよな～！（笑）
（ちびぶ～さん／女性／神奈川県）

■Mißgestalt (サガ フロンティア2)

数年前にサガフロンティア2の曲と出会ってから、
浜渦さんの曲の虜です。
サガフロ2の曲は好きなのがいっぱいあって
一曲選ぶのもとても悩むんですが、
特にMißgestaltはラスボス戦のときの
「ついにここまで来た…！」感を
とても味わわせてくれるから、とても大好きな曲です。
この曲で鳴るピアノの旋律が、
ギュスターヴの魂が最後の
戦いに駆けつけてくれた様を表していると、
いつも信じて聴いています（笑）
そんなドラマを感じさせてくれる曲を書き続けてくれる
浜渦さんを、これからも応援しています。
（ゆっきーさん／女性／兵庫県）

■バトルテーマ (アンリミテッド:サガ)

父のアンサガプレイを観戦していたのが、
この曲との出会いでした。
数回聴いただけで頭にこびりつきました。
後にク○ゲーと名高いゲームそのものも
主人公全員クリアしました。
父は途中で投げ出して
ソフトを売ってしまっていました…
自分でサントラにお金をかけられるようになるまで
出会いから5年以上かかりましたが、
それまでずっと色褪せることなく、
いい曲として記憶に残っていた曲です。

**テスト勉強のBGMにする、と言って
戦闘に入った所で放置していたのも
良い思い出ですね。**

他にも素敵な浜渦さんの曲はいっぱいあるのですが、
思い出補正も含めるとバトルテーマが
不動の一位なんじゃないかな。
（鶴さん／女性）

私が浜渦さんの音楽と出会ったのは2000年頃ですから、
もう10年以上前になります。
"ROMAN"の設立趣旨にもありますが、
現在は当時と全く環境が違うのですね、最近特に実感します。
浜渦さんご自身の情報発信もそうですし、
ソーシャルメディアを通して
ファン同士が繋がりがやすくなったのは
本当に大きな変化だと思えます。
毎度盛り上がるツイッター上の浜渦トーク、
各種オフイベントや演奏会など、
いち浜渦ファンとしてこんなに楽しい時期はこれまでなかった。
このROMANももしかしたら浜渦ファンの
歴史的な局面に立ち会っているのかもしれない、
そう思うとワクワクします。

**これからも浜渦音楽で
盛り上げ続けていきましょう！**
（mark (@masakzk)さん／男性／東京都）

■Imeruat (IMERUAT)

ImeruatのPVを見たときに自然と涙が溢れました。
こんな素敵な音楽に出会えて良かったなあと。
この一瞬を生きている感覚。
いまココには居ない誰かと繋がっている感覚。
それは喜びだったり感謝だったり、
そういった感情が胸の内から溢れでてきました。
この様な素晴らしい作品を生み出してくださる
浜渦さん、Minaさんをこれからも応援します！
（白鈴アキさん／女性／奈良県）

■Kaki (Vielen Dank)

まずは「ROMAN」の創刊、おめでとうございます。
浜渦さんの音楽を聴いたとき、まず最初に感じたのは、
この音楽は美しいということでした。
美しいというのはとても定義の難しい概念ですが、
この曲は彼の生家(?)の柿の木に捧げられた曲であることが
ライナーノーツによって明言されています。
収録されているアルバムは、商業作曲家である浜渦さんの
初めて自己作品を含むものということで、
どんな曲が入っているのかとても楽しみにしていたのですが、
その中でもこの曲がとりわけ好きになりました。
見慣れた風景が無くなるのはどこか寂しいものです。
この曲のピアノの響きは、悲しい、切ない響きをもっていますが、
軽快なテンポによって、ただの悲しさ、寂しさではないものを
語ることに成功しているように思えます。

**このような喪失の美しい描写が
あるものなんだなあと
この曲を聞くたびに感じます。**

これからも浜渦さんの発表される作品で、いろんな感覚を
多くの人と共有していけることを願っております。
（はっぱさん／女性／神奈川県）

浜渦さんの音楽が本当に大好きです。
決戦、ブレイズエッジ、心奪わず「窮鼠の神楽」などの
**壮大でドラマティックなメロディ、
疾走感溢れる曲調、
ドレッドノート大爆進！やBesessenheitなどの
透明感のある美しい旋律、**

どれも聴くだけで鳥肌が立ち、胸にグッとくるものがあります。
（makkuさん／女性／兵庫県）

■時の残滓 (シグマ ハーモニクス)

シグマハーモニクスのHPを開いた時に
流れてきた曲に心を奪われました。
その後の体験会などで音楽が気になって気になって……
その当時はまだあまりサントラを集めてなかったのですが、
このゲームのサントラは買ってみよう
と思った記憶がよみがえります。
浜渦さんを知るきっかけとなったこの曲、
今聞いても好き曲上位ですね！
空想の世界へいざなってくれる浜渦さんの曲が大好きです。
（もるさん／女性／神奈川県）

■Feldschlacht I (サガ フロンティア2)

祝★「ROMAN」創刊！！
これからも楽しみにしてます。
浜渦さんの音楽との出会いは1900年代後半。
弟がプレイしていた「サガフロ2」「チョコダン」ですね。
当時から興味はありましたが、まだピンとこなくて、
3年前に、当時非常に印象に残った「Feldschlacht I」を
突然思い出して、大ハマリ。
CD購入、ライブ参加、ファン有志による
ブレイク浜渦に参加してピアノ演奏するなど。
浜渦さんの音楽を通じて、色々な出会いと感動が訪れました。
全ての始まりは、「Feldschlacht I」
これからも大切に聴いていきたい、大好きな音楽です。
（りもねさん／女性／静岡県）

ファンマガジンROMAN創刊おめでとうございます！
気がつけば10年以上も浜渦さんの曲を聞いていて、
いつかは生で曲聞きたいなーとか
浜渦さんのこと沢山語りたいなーなんて
一人でもやもやと思ってましたが、
今ではコンサートもあるし！
ファンの方とも沢山知り合えたし！
こんなに身近に浜渦さんを感じる事ができるようになって
本当に嬉しく、また幸せに思います。
浜渦さんには本当に感謝してます！
今後の活躍を楽しみにしております。
（たむさん／男性／東京都）

■Volspiel (サガ フロンティア2)

まずはROMANの創刊、おめでとうございます。
ここ二年ほどで浜渦さんを認識しファンになった超にわかです。
浜渦さんの音楽はFF10等で知らず知らずのうちに
知っていたようですが、お名前と曲名を思わず調べたのが
偶然聞いたサガフロ2のタイトル画面の音楽「Volspiel」でした。
この二年でイベントやUst配信を通して、
浜渦さんやIMERUATサポートメンバーの皆さんや周囲の方の
音楽的感性に刺激をいただくと共に…
それ以上に浜渦さんやIMERUATサポートメンバーの皆さんの
ざっくばらんな人柄や、ファンの方の雰囲気にも
すっかり魅せられました。これまでファン同士が交流することが
ほとんどなかったと思いますが、この「ROMAN」を通して
色々な気持ちを交わせたらと思いメッセージを送ります。
これからも共に応援し浜渦さんの音楽を愛で、
交流を深めていけたら…！と思います。
**浜渦さんの曲におけるピアノ旋律は至高！
聞いているだけで最高に幸せな気分になります。**
長文駄文にて、失礼致しましたm(_ _)m
（wakiさん／女性／奈良県）

ROMAN Vol.1
発行:2013年7月6日 初版

企画・制作:  AEOLIC GUARDIAN  @AeolicGuardian
<http://hamauzu.qiqirn.com>
hamauzu@qiqirn.com
DTP: なる  @naro2010
写真: 白鈴アキ  @aki8901

Special Thanks to
NABEMO様 / 瑞希明様 / hide様 / Intermezzo様

